



## 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エーアイティー

コード番号 9381 URL <http://www.ait-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・経理財務部担当 (氏名) 西村 司

TEL 06-6260-3450

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	16,038	△1.3	1,246	0.7	1,318	4.8	834	11.4
27年2月期第3四半期	16,255	14.0	1,238	14.3	1,257	14.2	749	△1.1

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 797百万円 (△0.2%) 27年2月期第3四半期 798百万円 (△9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	43.68	—
27年2月期第3四半期	39.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	6,551	4,553	69.3
27年2月期	6,808	4,807	70.4

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 4,539百万円 27年2月期 4,790百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	10.00	—	40.00	50.00
28年2月期	—	15.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年2月期の期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 創立20周年記念配当20円00銭

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,468	11.5	1,749	6.2	1,777	5.3	1,130	10.1	59.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期3Q	19,754,400 株	27年2月期	19,754,400 株
28年2月期3Q	640,768 株	27年2月期	640,768 株
28年2月期3Q	19,113,632 株	27年2月期3Q	19,113,632 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀の各種政策により、企業収益、雇用環境に改善が見られ、緩やかではあるものの回復傾向に推移しました。しかしながら、円安等の影響による物価上昇の懸念から個人消費は伸び悩み、さらに中国や新興国経済の減速感の高まりから、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、主力となる国際貨物輸送を始め、通関、配送、さらに日本国内外の3PL(サードパーティー・ロジスティクス)案件を含めた一貫輸送の受注獲得に向け、それぞれの顧客ニーズに沿った国際物流の提案型営業に注力してまいりました。

これらに加え、新たな顧客層の開拓のため、昨年5月と10月に新たな営業部署を設置し、日用雑貨やアパレル等を主に取扱う企業中心に行ってきた営業活動を、専門知識が必要な化学品業界にも拡げ、さらに自動車業界を主とする北米に向けた輸出にも着手いたしました。

従来からの取り組みの強化により、新規顧客との取引は増加し、また円安による為替換算効果は収益を押し上げる要因となった一方、円安の進行に伴う既存顧客の在庫調整等により、国際貨物輸送の取扱高が減少し、それに加えて国際貨物輸送の市場におけるマーケットプライスの低下もあり、収益を押し下げる要因となりました。

しかしながら、前連結会計年度からの仕入コストの低減効果を持続させ、さらに販売費及び一般管理費の抑制にも取り組むことで、利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は16,038百万円(前年同期比1.3%減)と前年同期を下回った一方で、営業利益は1,246百万円(前年同期比0.7%増)、経常利益1,318百万円(前年同期比4.8%増)、四半期純利益834百万円(前年同期比11.4%増)と前年同期を上回る結果となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### ①日本

当第3四半期連結累計期間では、円安の進行から主に既存顧客の取扱高が減少した結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で114,377TEU(前年同期比9.1%減)、輸出入合計で119,480TEU(前年同期比8.4%減)と前年同期を下回り、収益の低下要因となりました。その反面、円安によって米ドル建て運賃の円貨換算額は増加し、取扱高の減少による収益の低下を補う形となりました。

また、通関受注においては、海上輸送の減少が響いたものの、一貫輸送の受注獲得に向けての営業強化が奏功し、受注件数は45,532件(前年同期比4.9%増)と前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、日本における営業収益は12,370百万円(前年同期比4.9%減)となり、セグメント利益は、営業収益の減少の影響により945百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

#### ②中国

日本向け貨物の取扱いが低調であったものの、現地での通関や配送等といった輸送に関連する収益の安定的な確保に努め、さらに円安により現地通貨の円貨換算額も増加した結果、営業収益は3,622百万円(前年同期比12.9%増)となり、セグメント利益は301百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

#### ③タイ

日本向け貨物の取扱いが減少した一方で、円安による為替要因により現地通貨の円貨換算額が増加した結果、営業収益は46百万円(前年同期比6.9%増)となった一方で、営業活動における費用が嵩み、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント利益1百万円)となりました。

(注) TEU(Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算)とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し6,551百万円となりました。これは主に、立替金が260百万円、受取手形及び売掛金が85百万円減少した一方で、現金及び預金が114百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し1,997百万円となりました。これは主に、未払法人税等が136百万円減少した一方で、賞与引当金が54百万円、買掛金が45百万円、退職給付に係る負債が29百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し4,553百万円となりました。これは主に、四半期純利益834百万円を計上した一方で、剰余金の配当により1,051百万円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年4月7日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,557,053	3,671,461
受取手形及び売掛金	1,662,352	1,576,674
立替金	1,065,541	804,979
その他	155,295	141,727
貸倒引当金	△16,994	△12,427
流動資産合計	6,423,248	6,182,416
固定資産		
有形固定資産	75,609	71,621
無形固定資産	105,220	85,613
投資その他の資産		
投資有価証券	8,933	7,827
差入保証金	191,112	199,255
その他	4,789	4,712
貸倒引当金	△55	△12
投資その他の資産合計	204,780	211,782
固定資産合計	385,610	369,017
資産合計	6,808,858	6,551,433
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	967,802	1,013,015
未払法人税等	389,320	253,250
賞与引当金	62,565	116,843
役員賞与引当金	18,200	13,649
その他	294,126	298,420
流動負債合計	1,732,014	1,695,179
固定負債		
退職給付に係る負債	172,961	202,920
役員退職慰労引当金	43,320	55,369
その他	53,147	44,496
固定負債合計	269,428	302,787
負債合計	2,001,442	1,997,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,013,324	3,796,931
自己株式	△67,928	△67,928
株主資本合計	4,438,126	4,221,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,809	△3,874
繰延ヘッジ損益	-	△175
為替換算調整勘定	353,750	322,312
その他の包括利益累計額合計	351,940	318,261
少数株主持分	17,347	13,471
純資産合計	4,807,415	4,553,467
負債純資産合計	6,808,858	6,551,433

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
営業収益		
輸送事業収入	16,255,896	16,038,618
営業収益合計	16,255,896	16,038,618
営業原価		
輸送事業仕入	12,500,851	12,096,728
営業原価合計	12,500,851	12,096,728
売上総利益	3,755,045	3,941,889
販売費及び一般管理費	2,516,887	2,695,176
営業利益	1,238,157	1,246,712
営業外収益		
受取利息	7,937	16,293
為替差益	-	34,077
その他	22,164	21,126
営業外収益合計	30,102	71,498
営業外費用		
支払利息	300	155
為替差損	10,578	-
営業外費用合計	10,878	155
経常利益	1,257,381	1,318,054
特別損失		
固定資産除却損	429	794
特別損失合計	429	794
税金等調整前四半期純利益	1,256,951	1,317,260
法人税、住民税及び事業税	511,589	529,198
法人税等調整額	△4,860	△44,219
法人税等合計	506,728	484,978
少数株主損益調整前四半期純利益	750,223	832,281
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,098	△2,574
四半期純利益	749,125	834,856

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	750,223	832,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△850	△2,064
繰延ヘッジ損益	8,014	△175
為替換算調整勘定	41,244	△32,740
その他の包括利益合計	48,408	△34,980
四半期包括利益	798,632	797,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	796,906	801,177
少数株主に係る四半期包括利益	1,725	△3,876

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	13,003,350	3,209,464	43,081	16,255,896	—	16,255,896
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	27,828	1,415,919	13,228	1,456,976	△1,456,976	—
計	13,031,179	4,625,384	56,309	17,712,873	△1,456,976	16,255,896
セグメント利益	987,187	249,295	1,674	1,238,157	—	1,238,157

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	12,370,507	3,622,044	46,066	16,038,618	—	16,038,618
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	14,212	1,527,903	12,651	1,554,766	△1,554,766	—
計	12,384,719	5,149,947	58,717	17,593,384	△1,554,766	16,038,618
セグメント利益又は損失(△)	945,780	301,697	△765	1,246,712	—	1,246,712

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。